

第2期 高根沢町まち・ひと・しごと創生総合戦略

(高根沢町総合戦略)

## 進捗管理調書

(令和5年度実績分)



令和6年7月

高 根 沢 町

# 目 次

- 1 地域再生計画、地方創生関連交付金等に係る事業の効果検証シート・・・1
- 2 第2期 高根沢町まち・ひと・しごと創生総合戦略  
（KPI 管理表）・・・3
- 3 第2期 高根沢町まち・ひと・しごと創生総合戦略  
（進捗管理表）・・・4

## 【関係資料】別冊



第2期 高根沢町まち・ひと・しごと  
創生総合戦略

【1】

地域再生計画				
① 名称	元気あっぷむらを拠点とした地方創生推進計画			
② 認定年月日	平成31年3月29日（第51回認定）			
③ 期間	令和元年度～令和5年度（5年間）	④ 総事業費	令和元年度～令和5年度（5年間） 797,148千円	
⑤ 概要	・駅前への賑わい創出の取組により獲得した若い交流人口を、町東部地区（農村部）にも呼び込み、繰り返し来たい、滞在したいと思わせるための拠点整備を、「元気あっぷむら」を舞台として行う。			
⑥ KPI			⑦ 実績	
指標	目標年月	目標値	実績値	自己評価
元気あっぷむら総売上高（千円）【初期値321,399】	令和6年3月末	410,000 増 （延べ731,399）	127,580 増 （延べ448,979）	・道の駅たかねざわ元気あっぷむらは、令和2年4月のリニューアルオープン後、コロナ禍の影響を受けた中でも、グランピング施設を中心に度々メディアにも取り上げられるなど、施設の注目度及び利用者の数が増加したことにより、県内外の方に高根沢町を広く知っていただくゲートウェイとしての役割を担ってきた。しかし、主にグランピング施設が令和4年度以降稼働率の低下がみられ、これにより総売上高及び宿泊者数の伸び悩みもあり、KPIの目標達成には至らなかった。グランピング施設を中心に滞在していただくメニュー、サービスの提供等において、他の類似施設との差別化やブラッシュアップが出来なかったこと等が主な要因と考える。
元気あっぷむら施設宿泊者数（人）【初期値7,501】	同上	15,000 増 （延べ22,501）	3,183 増 （延べ10,684）	
本計画の取組実施による創業者数（人）【初期値0】	同上	30 増 （延べ30）	20 増 （延べ20）	
⑧ 今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流・関係人口を移住・定住・創業へと誘導するための一連の取組みとして、「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」を拠点とした滞在・交流の取組を推進していく。</li> <li>・本町の魅力を発信する拠点となるよう、地元関係者等と共同し事業を展開していく。</li> <li>・魅力ある施設運営をするための運営方法を検討していく。</li> </ul>			⑨ 総合戦略推進会議コメント 特にコメントなし
計画傘下事務事業				
① 名称	元気あっぷむら道の駅登録に伴う複合拠点施設整備事業			
② 交付金の種類	地方創生拠点整備交付金			
③ 交付決定年月日	【平成30年度】平成31年3月29日			
④ 期間	令和元年度（平成30年度からの繰越）	⑤ 事業費	【令和元年度実績】364,060千円 （内国費182,030千円）	
⑥ 概要	【令和元年度】 ・「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」の施設整備（グランピング施設、交流広場等）			
⑦ KPI【令和5年度】			⑧ 実績【令和5年度】	
指標	目標年月	目標値	実績値	自己評価
元気あっぷむら総売上高（千円）【初期値321,399】	令和6年3月末	410,000 増 （延べ731,399）	127,580 増 （延べ448,979）	・地元関係者等と共同し、定期的にマルシェ等のイベントや講座等ソフト事業展開の充実が図れている。 ・全体来場者数は年々増加をたどっているが、指定管理者による運営の中で、グランピング施設の宿泊者数（稼働率）の減少や、飲食部門の運営面の課題が確認され、総売上高が伸びなかった。
元気あっぷむら施設宿泊者数（人）【初期値7,501】	同上	15,000 増 （延べ22,501）	3,183 増 （延べ10,684）	
本計画の取組実施による創業者数（人）【初期値0】	同上	7 増 （延べ30）	8 増 （延べ20）	
⑨ 今後の展開	/			⑩ 総合戦略推進会議コメント 元気あっぷむらのグランピングについて、近隣に同様の施設が建設されていることや、温泉施設（本館）から距離が離れていることから魅力が半減している。グランピングに温泉施設を併設したりバリアフリー化を行ったりして魅力を向上すべきではないか。

【2】

地域再生計画				
① 名称	とちぎわくわく移住・就職・起業促進プロジェクト計画 (※県内 25 市町の広域連携)			
② 認定年月日	平成 31 年 3 月 29 日 (第 51 回認定)			
③ 期間	令和元年度～令和 6 年度 (6 年間)	④ 総事業費	令和元年度～令和 6 年度 (6 年間) 1,690,386 千円 (※25 市町合計)	
⑤ 概要	<p>【移住支援事業】 マッチング対象となる県内中小企業等の求人に応募又は県内で起業した移住者に対し、市町が移住支援金を支給。</p> <p>【マッチング支援事業】 県が企業情報や求人情報を顕在化するマッチングサイトを開設、移住支援金の対象となる求人等を掲載する。</p> <p>【起業支援事業】 県が東京圏からの移住者による地域課題の解決に資する社会的事業分野の起業に対し、起業支援金を交付する。</p>			
⑥ KPI (※25 市町合計) 【令和 5 年度】			⑦ 実績 【令和 5 年度】	
指標	目標年月	目標値	実績値	自己評価
本移住支援事業に基づく移住就業者数 (人) 【初期値 0 人】	令和 6 年 3 月末	235 増 (延べ 1,055)	226 増 (延べ 445)	/
本移住支援事業に基づく移住起業者数 (人) 【初期値 0 人】	同上	5 増 (延べ 25)	3 増 (延べ 20)	
本起業支援事業に基づく起業者数 (人) 【初期値 0 人】	同上	30 増 (延べ 150)	18 増 (延べ 131)	
マッチングサイトに新たに掲載された求人数 (件) 【初期値 0 件】	同上	2,000 増 (延べ 10,000)	116 増 (延べ 938)	
⑧ 今後の展開			⑨ 総合戦略 推進会議 コメント	
計画傘下事務事業				
① 名称	移住支援事業 (※県内 25 市町の広域連携)			
② 交付金の種類	地方創生推進交付金			
③ 交付決定年月日				
④ 期間	令和元年度～令和 6 年度 (6 年間)	⑤ 事業費	【令和 5 年度実績】 単身者 3 件 180 万 世帯 1 件 100 万	
⑥ 概要	<p>【令和 5 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(制度概要) テレワークにより移住元の業務を継続して行っている移住者や、マッチング対象となる県内中小企業等の求人に応募又は県内で起業した移住者に対し、町が移住支援金を支給するもの。</li> <li>・制度の周知 (窓口でのチラシ配布、ホームページへの掲載) 及び個別相談対応 (16 件) を行った。</li> </ul>			
⑦ KPI (※高根沢町分)			⑧ 実績 (※高根沢町分)	
指標	目標年月	目標値	実績値	自己評価
とちぎわくわく移住・就職・起業促進プロジェクトの制度を利用した移住者数 (人)	令和 6 年 3 月末	5	4	・令和 5 年度は 16 件の相談を受け、補助要件を満たした方の申請手続きを支援し、4 件の移住支援金を交付した。また、16 件の相談のうち 1 件は、令和 6 年度に移住を予定しているため、移住支援金の申請に向けた支援を継続しており、年度を跨いだフォローアップができています。
⑨ 今後の展開	・町広報・ホームページ等で制度周知を行う。 ・移住支援金の支給者実績を、本町への移住・定住促進を図るため広く PR を行うことで、町に興味のある方へ強く訴求する。		⑩ 総合戦略 推進会議 コメント	特にコメントなし

**基本目標1：「安心して産み、子育てができるまち」を目指します**

数値目標	目標値（令和7年度）	実績値					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
合計特殊出生率	1.67 (令和6年度値)	1.39 (令和元年度値)	1.38 (令和2年度値)	1.41 (令和3年度値)	1.31 (令和4年度値)		
(1) 若い世代の結婚や、家庭を築きたいという希望を実現するため、多様な出会いの場を創出するなど、結婚を応援します。							
重要業績評価指標（KPI）	目標値（令和7年度）	実績値					
婚姻率	6.0より上昇 (平成29年度値)	6.1 (令和元年度値)	5.5 (令和2年度値)	4.4 (令和3年度値)	4.6 (令和4年度値)		
婚活イベントの参加者数	27人/年（令和元年度）より増加	*イベント中止	*イベント中止	29	29		
(2) 安心して、妊娠から出産ができるよう、切れ目なく応援します。							
重要業績評価指標（KPI）	目標値（令和7年度）	実績値					
月齢ごとの乳幼児健診の受診率	100%	98.8%	99.0%	99.0%	100%		
赤ちゃんの駅登録施設数	20施設	10施設	11施設	14施設	16施設		
(3) 安心して、子育て期を過ごせるよう、子育てを応援します。							
重要業績評価指標（KPI）	目標値（令和7年度）	実績値					
子育て世代包括支援センター（NIKO♡NIKO子育て相談室）利用者数	412人/年（平成30年度）より増加	306人	312人	303人	402人		
保育所待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人		

**基本目標2：「子育てに適した生活環境と、生涯にわたり住み続け・働けるまち」を目指します。**

数値目標	目標値（令和7年度）	実績値					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
20～40代人口	11,790人より増加 (平成31年4月1日時点)	11,549人 (令和3年4月1日時点)	11,295人 (令和4年4月1日時点)	11,052人 (令和5年4月1日時点)	10,825人 (令和6年4月1日時点)		
(1) 「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」を核として、「まちに住んでみたい」、「まちに住み続けたい」と思っていたく方を増やすための関係人口の創出と、魅力あるまちづくりの実現を図ります。							
重要業績評価指標（KPI）	目標値（令和7年度）	実績値					
道の駅たかねざわ 元気あっぷむらの年間施設利用者数	450,000人	260,480人	330,294人	397,449人	414,910人		
(2) 町の情報が必要な方へ届いていない現状を踏まえ、若い世代へのイメージ戦略の強化と併せて、SNS等の新たな媒体の活用と、情報発信ツールの束ねなおしを図ります。							
重要業績評価指標（KPI）	目標値（令和7年度）	実績値					
町ホームページへのアクセス数	268,753件/年（平成30年度）より増加	437,119件	422,329件	310,125件	355,067件		

基本目標1：「安心して産み、子育てができるまち」を目指します

(1) 若い世代の結婚や、家庭を築きたいという希望を実現するため、多様な出会いの場を創出するなど、結婚を応援します。

施策 【Plan】	1-1	結婚を後押しする応援	所管課	
			生涯学習課	
主な取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>●婚活イベントの開催</li> <li>●婚活普及啓発</li> </ul>		
【令和5年度】	①令和5年度の具体的な取組・検証の内容	<p>●婚活イベント開催、結婚普及啓発</p> <p>【事業概要】 ○婚活事業に長けた業者を選定してそのノウハウを活かし、高根沢町在住・在勤の男性と県内外から広く募集した女性との出会いの場を設け、結婚・定住・永住のきっかけを作る取り組みを実施した。また、令和4年度宇都宮大学との「地域プロジェクト演習」パートナー事業の提案を踏まえ、ランチタイムにバーベキューを盛り込み、町の特産品や農作物を使用することで、高根沢町の魅力もPRし、移住促進も兼ねながら取り組んだ。</p> <p>【具体的な取組】 ○婚活イベントの開催（事業名：出会いの場づくり「たんたん婚活たかねざわ」） 期日：10月21日（土） 会場：道の駅たかねざわ元気あつむら 大会議室・レストハウス 参加者は男性15名・女性14名で、8組のカップルが成立した。平成28年度から令和5年度までの6回で32組のカップルが成立しており、結婚・定住・永住を目的としたイベントは充実した内容で、この事業は、出会いを求める参加者にとって大きなメリットであると考えている。</p> <p>○婚活普及・啓発周知 町HPに作成した「とちぎ結婚支援センター」の紹介ページについて周知した。 <a href="https://www.town.takanezawa.tochigi.jp/learning/manabi/jigyo/2021-0415-1455-99.html">https://www.town.takanezawa.tochigi.jp/learning/manabi/jigyo/2021-0415-1455-99.html</a></p>		
	【Do・Check】			
	②令和6年度の具体的な取組・改善内容	<p>●婚活イベント開催、結婚普及啓発</p> <p>【事業概要】 ○高根沢町在住・在勤の男性と県内外から広く募集した女性との出会いの場を設け、結婚・定住・永住のきっかけを作る取組を実施する。婚活事業に長けた業者を選定し、そのノウハウと町の資源を活用し婚活イベントを開催する。</p> <p>【具体的な取組】 ○婚活イベントの開催（事業名：出会いの場づくり「たんたん婚活たかねざわ」） 期日：10月12日（土） 会場：道の駅たかねざわ元気あつむら 大会議室・レストハウス 募集：8月から開始 定員：男性15名・女性15名</p> <p>○婚活普及・啓発周知 「とちぎ結婚支援センター」の紹介（マッチングサービスの概要、申込手続き等）チラシ等を作成し、イベントの際に配布する。</p>		
【Action・Plan】				
③特記事項				

基本目標1：「安心して産み、子育てができるまち」を目指します

施策 【Plan】	1-2	働きながら子育てできる環境づくり	所管課	
			生涯学習課	産業課
主な取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>●男女共同参画の推進</li> <li>●女性の就業促進</li> </ul>		

【令和5年度】	①令和5年度の具体的な取組・検証の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●男女共同参画の普及啓発 【具体的な取組】</li> <li>○「家庭の日」「男女共同参画週間」「世界人権デー」などの普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町HPや広報紙、生涯学習情報機関紙「たんたんだより」などの情報媒体を活用して、町民へ普及啓発を行った。</li> <li>・町教育委員会事務局で使用する封筒に印刷したSDGsのロゴにより「目標5ジェンダー平等を実現し、女性が活躍しやすいまちづくりの推進」の普及啓発を行っている。</li> </ul> </li> <li>○女性団体連絡協議会への活動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画に関する研修の案内を行った。また「みんなのつどい」で講演会を開催し、ジェンダー平等の理解を深め、男女共同参画や女性活躍推進の普及啓発を行った。</li> </ul> </li> <li>○男女共同参画に関する公民館講座等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館講座「男性のスキルアップ講座」年4回実施し、男性の家事等の家庭参画に向けて、女性が担うことの多い家事を男性が習得することで家事を分担し、女性の就業促進への取り組みとして、男性の家庭参画意識の向上を図った。（第1回：料理教室・第2回：整理収納講座・第3回：料理教室・第4回：家庭の防災教室）</li> </ul> </li> <li>●女性の就業促進 【具体的な取組】</li> <li>・栃木県主催のとちぎ女性・高齢者等新規就業支援事業「女性とシニアのための個別相談会」を後援することにより、高根沢町において2回実施し、結婚・出産・育児などで仕事から離れたがまた働きたい女性の就職活動の支援を行った。</li> </ul> <p>【Do・Check】</p>	
	②令和6年度の具体的な取組・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●男女共同参画の推進・普及啓発 【具体的な取組】</li> <li>○「家庭の日」「男女共同参画週間」「世界人権デー」などの普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町HPや広報紙、生涯学習情報機関紙「たんたんだより」などの情報媒体を活用して、町民へ普及啓発を行う。</li> </ul> </li> <li>○女性団体連絡協議会への活動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画に関する研修の案内を行うことや、「みんなのつどい」で講演会を開催し、男女共同参画の普及啓発を行う。</li> </ul> </li> <li>○男女共同参画に関する公民館講座等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館講座「男性のスキルアップ講座」について参加人数が少なかったことから、内容を変更して「とも家事講座」を年4回実施する。男女共同参画への取組として、女性が担うことの多い家事等を夫婦や家族が協力して共に行うことで、理想の共働きを目指し女性の社会進出を図る。</li> </ul> </li> <li>●女性の就業促進 【具体的な取組】</li> <li>・栃木県主催のとちぎ女性・高齢者等新規就業支援事業「女性とシニアのための個別相談会」を後援することにより、高根沢町において2回実施を計画する。町広報紙や開催案内を掲載し広く相談者を募集し働きたい女性の就職活動の支援を行う。</li> </ul> <p>【Action・Plan】</p>	
	③特記事項		

基本目標1：「安心して産み、子育てができるまち」を目指します

(2) 安心して、妊娠から出産ができるよう、切れ目なく応援します。

施策 【Plan】	1-3	妊娠・出産の不安の解消	所管課	
			健康福祉課 (保健センター)	こどもみらい課
主な取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>●赤ちゃんの駅事業</li> <li>●産前・産後サポート事業</li> <li>●不妊治療費助成</li> </ul>		
【令和5年度】	①令和5年度の具体的な取組・検証の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●赤ちゃんの駅事業 【具体的な取組】 ○子育て世代の外出支援と地域で子育てを応援する環境を作るため、令和2年度からスタートした赤ちゃんの駅事業は、町内各関係施設、店舗等へ出向いて周知、協力依頼を行った。その結果、昨年度から2か所（エコハウス・たいらや高根沢店）増の、合計16か所の登録となった。</li> <li>○赤ちゃんの駅を安心して利用できるよう、感染症予防としてアルコール消毒やオムツ交換用シートを設置した。</li> <li>●産前・産後サポート事業 【具体的な取組】 ○安心して子育てできる環境を作るため「子育て世代包括支援センター＝NIKO♡NIKO子育て相談室」を中心として、妊娠期から切れ目のない支援を行う産前産後サポート事業を実施した。産後ケア施設は、利用施設数を増やし、よりニーズに応えられる体制を整えた。 産後院宿泊利用者6名12泊（5名13泊※令和4年度）、日帰り利用者8名13回（9名21回）、アウトリーチ型（訪問型）産後ケア6名9回（0名）、産後ヘルパー利用者実績1名（0名）</li> <li>●不妊治療費助成 【具体的な取組】 令和4年4月から不妊治療が公的医療保険の対象となったが、先進医療に位置付けられる不妊治療などは令和4年度以降も保険適用外であり、要件に年齢制限等もあることから、不妊に悩む方の経済的負担軽減を図るため、健康保険適用外の治療費用について、引き続き不妊治療費の助成を実施した。（事実婚関係にある方に対しても助成対象。） なお、公的保険適用となったことから、申請者は減少傾向である。 ○令和5年度実績 16件 2,423,223円（うち令和5年度治療開始分16件） （参考：令和4年度実績 39件 5,222,233円（うち令和4年度治療開始分6件））</li> </ul>		
	【Do・Check】			
	②令和6年度の具体的な取組・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●赤ちゃんの駅事業 【具体的な取組】 ○赤ちゃんの駅事業についての周知、協力依頼を再度実施していくとともに、引き続き、乳幼児健診時に赤ちゃんの駅の周知、利用状況、赤ちゃんの駅に関するニーズを調査し、「設置場所の増設」と「利用者サービスの拡充」の需要を見極めながら整備を推進していく。</li> <li>●産前・産後サポート事業 【具体的な取組】 ○産後ケアは、必要な方が利用できるよう、現行の利用施設の体制を維持していく。各種教室や相談は、子育ての悩みや不安解消の場、親子の交流の場となるよう、さらに事業を充実させていく。</li> <li>○関係機関と連携を図りつつ、出産後育児の大変な時期に母親の心身の体調管理、育児への支援を自宅で行うことで、母親が安心して子育てできる支援体制を整備する。</li> <li>●不妊治療費助成 【具体的な取組】 不妊治療費が公的保険適用となったが、不妊に悩む方に対して少しでも経済的負担軽減が図れるよう、引き続き不妊治療費の助成を実施する。 ○令和6年度予算額 4,000,000円</li> </ul>		
【Action・Plan】				
③特記事項				



基本目標1：「安心して産み、子育てができるまち」を目指します

(3) 安心して、子育て期を過ごせるよう、子育てを応援します。

施策【Plan】	1-4	子育ての応援	所管課	
			健康福祉課 (保健センター)	こどもみらい課
主な取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て世代包括支援センター</li> <li>●学校給食費の減免等</li> <li>●副食費の減免</li> </ul>		
【令和5年度】	①令和5年度の具体的な取組・検証の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て世代包括支援センター 【具体的な取組】</li> <li>○妊娠期からの切れ目のないサポートを行い、必要なサービスが提供できるよう母子手帳交付の際に専門職（保健師・助産師）による妊婦及びその家族へ、全員面接を実施した。</li> <li>○面接した妊婦の中から、要支援・特定妊婦を選定し、適切な支援につなげるため、月1回関係者間のケース検討会議を実施した。また、特定妊婦については要保護児童対策協議会にて支援方針を決定し、対象者の支援につなげた。</li> <li>○子育て世代包括支援センターでの要支援・特定妊婦に係る定例会議に、こどもみらい課が参画し、情報を共有することで一人ひとりのきめ細やかな支援につながった。</li> <li>○令和5年度より、生後4か月までのお子さんを持つ保護者を対象としたNIKO♡NIKOサロンや、就学前のお子さんを対象とした作業療法士による運動集団指導を新規に開催し、こころの相談についても回数を増やすなど支援の充実を図った。</li> <li>【事業実績】</li> <li>○母子手帳交付件数：令和5年度209件、令和4年度224件</li> <li>NIKO♡NIKOルーム（マタニティ教室）：令和5年度12回（77人参加）、令和4年度12回（79人参加）</li> <li>NIKO♡NIKOサロン（産後の交流会）：令和5年度9回（137人参加）（新規）</li> <li>赤ちゃん訪問：令和5年度193件（令和4年度201件）</li> <li>こども相談：令和5年度21回67人（令和4年度21回69人）</li> <li>ことばの相談：令和5年度16回39人（令和4年度12回28人）</li> <li>こころの相談：令和5年度18回46人（令和4年度11回29人）</li> <li>5歳児のびのび相談：令和5年度10回214人（令和4年度11回226人）</li> <li>運動集団指導：令和5年度6回23人（新規）</li> </ul>		
	【Do・Check】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校給食費の減免等</li> <li>○高根沢町独自の子育ての応援として令和4年度から開始した小学生月額1,400円、中学生月額1,200円の学校給食費の減免を継続して実施し、加えて、令和5年7月から令和6年3月まで、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、減免額に月額2,500円を上乗せし、児童生徒2,049名の保護者に対して年間70,178,100円の減免を実施した。また、合わせて、アレルギー等により給食の提供を受けていない児童生徒23名の保護者に対して、減免相当分として551,650円の助成を実施した。</li> </ul>		
	【Action・Plan】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●副食費の減免 【具体的な取組】</li> <li>令和元年10月から幼児教育・保育の無償化により、幼稚園・保育所・認定こども園などを利用する3歳から5歳クラスの保育料は、無償となり、年収360万円未満相当世帯の子どもと全ての世帯の第3子以降の子どもについては、副食費（おかず・おやつ等）が減免（上限4,500円）となった。</li> <li>令和4年度から高根沢町独自の子育て応援として、上記（国や県基準）の対象とならない世帯についても、副食費のうち月額1,500円の減免を開始し、令和5年度も引き続き副食費の減免を実施した。また、物価高騰に伴う子育て世帯支援として、令和5年8月から令和6年3月まで減免額を2,500円を上乗せし、4,000円の減免を実施した。</li> <li>※町独自の減免人数 保育園・認定こども園302人、幼稚園188人</li> </ul>		
②令和6年度の具体的な取組・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て世代包括支援センター</li> <li>○各種教室については、年々相談件数が増加していることから、「ことばの相談」や「こころの相談」の実施回数を増やすとともに、作業療法士による「運動の相談（運動面・空間認識に関する相談）」を、積極的に実施していく。</li> <li>○産後の育児不安の軽減や孤立化を予防するため、生後4か月までの子を持つ保護者が集えるNIKO♡NIKOサロンを実施していく。</li> <li>○こども家庭センター設置に伴い、より関係部署と連携を強化し、引き続き、妊娠期からの出会いを大切に、一人ひとりに寄り添った支援を行っていく。</li> </ul>			
【Action・Plan】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校給食費の減免等</li> <li>○高根沢町独自の子育ての応援として、町立小・中学校で給食の提供を受けている児童・生徒の保護者を対象に、学校給食費のうち小学生月額1,400円、中学生月額1,200円の減免を継続して実施する。合わせて、アレルギー等により給食の提供を受けていない児童生徒の保護者に対して、減免相当分の助成を継続して実施する。</li> </ul>			
③特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●副食費の減免 【具体的な取組】</li> <li>国や県基準の副食費の減免の対象にならない世帯に対し、町独自の子育て応援として副食費の減免を引き続き実施する。なお、令和6年度から副食費の公定価格が4,800円に引き上げられ、町内保育施設の副食費も一律4,800円になったことから、保護者の負担が増えないように減免額を1,800円とする。</li> <li>対象予定人数</li> <li>※町独自の減免人数（4月現在） 保育園・認定こども園287人、幼稚園152人</li> </ul>			

基本目標1：「安心して産み、子育てができるまち」を目指します

施策【Plan】	1-5	子育て環境の充実	所管課	
			健康福祉課 (保健センター)	こどもみらい課
主な取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>●産科誘致事業</li> <li>●保育施設整備</li> </ul>		
【令和5年度】	①令和5年度の具体的な取組・検証の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産科誘致事業 【事業概要】 ○安心して子どもを産み育てられる環境を整えるため、産科医療施設を開設する事業者に対し、事業費の補助を行う事業。 【具体的な取組】 ・リーフレットを関係機関へ送付するのに加えて、令和5年度は新たに、県医療政策課の協力を得て、他県の医療政策部署にも周知を行った。 ・年間を通じた営業活動として、主に金融機関に協力を依頼し、医療法人や医療コンサルタント等に対する本事業の周知を図り、情報交換を実施した。</li> <li>●保育施設整備 【具体的な取組】 ○令和4年度から令和5年度の継続事業として「ひまわり保育園」整備補助を実施したことで、認可定員が110名から120名に増えることになった。 ⇒年度当初の保育園待機児童数はゼロだが、年度後半になると潜在的待機児童も含め3歳未満の待機児童が増える状況にあるが、定員増に伴い待機児童の改善につながった。  ○令和6年度の阿久津小学校の学童保育の利用希望者が定員をオーバーする状況になったことから、令和6年2月に阿久津小学校と協議し、第2音楽室を11か所目の公立の学童クラブとして「阿久津小学校第4学童保育所」を開所することができた。 なお、学童保育利用希望者が年々増加しているため、今後の対策を検討する必要がある。</li> </ul>		
	【Do・Check】			
	②令和6年度の具体的な取組・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産科誘致事業 【具体的な取組】 ・引き続き、金融機関等との情報交換を基軸としながら誘致活動を行う。アプローチについては金融機関等からの改善提案なども聞きながら、広範囲にPRすることに拘らず、何か一つでもきっかけが掴めそうなことがあればそれに集中して活動していく等、柔軟に取り組んでいく。</li> <li>●保育施設整備 【具体的な取組】 ○令和6年度から令和7年度の就学前教育・保育施設整備事業として老朽化した「高根沢第二幼稚園」の整備補助を実施し、令和8年4月から、これまでの幼稚園とあわせて保育園部分が追加となる「幼保連携型認定こども園 高根沢幼稚園」としてオープン予定です。 ⇒保育を必要としない教育部分（幼稚園）の定員を縮小し、保育を必要とする保育部分（保育園）の定員（92名）が新設されます。（定員385名⇒223名）  ○学校規模適正化基本計画により、今後小学校の統廃合がすすむことから、学校の統合に伴う学童室の不足が見込まれる。今年度は、第3期高根沢町子ども・子育て支援事業計画の策定年度であることから、計画策定の中で学童保育の量の見込みを推計し、確保対策を検討する。</li> </ul>		
③特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育施設整備（高根沢第二幼稚園整備事業） 就学前教育・保育施設整備交付金（国庫1/2、町1/4）</li> </ul>			

基本目標1：「安心して産み、子育てができるまち」を目指します

施策 【Plan】	1-6	多子世帯の応援	所管課	
			こどもみらい課	
主な取組		●幼児教育・保育料の無償化		
【令和5年度】	①令和5年度の具体的な取組・検証の内容	<p>●幼児教育・保育料の無償化 【具体的な取組】</p> <p>○令和元年10月から幼児教育・保育の無償化により、幼稚園・保育所・認定こども保育園などを利用する3歳から5歳クラスの子どもや、住民税非課税世帯の0歳から2歳児クラスまでの子どもの保育料が無償となった。</p> <p>○幼児教育・保育の無償化に合わせ、県と町で、国基準の対象とならない保育所・認定こども園などを利用する実質第3子の保育料（43名）や副食費（47名）を減免対象とした。</p> <p>○令和3年4月からは、国基準の対象とならない幼稚園（未移行）の実質第3子の副食費（20名）を減免対象とした。</p>		
	【Do・Check】			
	②令和6年度の具体的な取組・改善内容	<p>●幼児教育・保育料の無償化 【具体的な取組】</p> <p>○多子世帯における幼児期の子育てに係る経済的負担軽減を図るために、引き続き国基準の対象とならない実質第3子の保育料や副食費の減免を実施する。また、令和6年10月からは、国基準の対象とならない実質第2子の保育料の減免（負担割合：県1/2、町1/2）を開始する。</p>		
【Action・Plan】				
③特記事項				

基本目標1：「安心して産み、子育てができるまち」を目指します

施策 【Plan】	1-7	地域と学校の連携強化と人材育成	所管課																																																					
			学校教育課	こどもみらい課																																																				
			学校教育課	こどもみらい課																																																				
			生涯学習課																																																					
主な取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>●「みんなの学校」事業（学校運営協議会・学校支援地域本部）</li> <li>●中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業</li> <li>●小学生と赤ちゃんのふれあい交流事業</li> </ul>																																																						
【令和5年度】	①令和5年度の具体的な取組・検証の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「みんなの学校」事業（学校運営協議会） 【具体的な取組】 ○令和元年度から町内各小中学校において、学校運営協議会と学校支援地域本部の2つの組織を両輪として開始した『高根沢町版コミュニティ・スクール「みんなの学校」』のうち、学校運営協議会については、新型コロナウイルス感染症の収束により、令和5年度からは、それぞれの学校運営協議会において会議回数を増やすとともに、「登下校の安全」などの具体的な協議テーマを設定することにより、充実した協議を進めることができた。</li> <li>●「みんなの学校」事業（学校支援地域本部：地域と学校の連携強化） 【具体的な取組】 ①学校支援地域本部会議の支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校と地域の連携・協働推進ハンドブック」を基盤として、学校支援地域本部会議や地域コンシェルジュの役割についての説明を丁寧に行い、理解の促進を図った。</li> <li>・昨年度、県から受けた「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」事業（東小）の活動を高根沢町の財として、今年度は他の小、中学校の学校支援地域本部会議の際に実践例として取り組み内容の情報発信に努めた。</li> </ul> </li> <li>②地域連携研修会の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県主催の各種研修会の紹介を随時行ってきた。</li> <li>・塩谷南那須教育事務所との地域連携に係る共同研修会を実施した。</li> </ul> </li> </ul> <li>●中学生と赤ちゃんのふれあい交流事業 【具体的な取組】 ○北高根沢中学校                             <table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>事業内容</th> <th>学年</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月21日</td> <td>中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業</td> <td>2年生</td> <td>参加親子8組</td> </tr> <tr> <td>11月24日</td> <td>赤ふれふりかえり（DVD上映）</td> <td>2年生</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12月6日</td> <td>いのちの授業</td> <td>1年生</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>○阿久津中学校                             <table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>事業内容</th> <th>学年</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月6日</td> <td>中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業</td> <td>2年生</td> <td>参加親子8組</td> </tr> <tr> <td>7月14日</td> <td>中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業</td> <td>2年生</td> <td>参加親子7組</td> </tr> <tr> <td>7月18日</td> <td>中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業</td> <td>2年生</td> <td>参加親子4組</td> </tr> <tr> <td>11月27日</td> <td>赤ふれふりかえり（DVD上映）</td> <td>2年生</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12月14日</td> <td>いのちの授業</td> <td>1年生</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>●小学生と赤ちゃんのふれあい交流事業                             <table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>実施場所</th> <th>小学生</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月16日</td> <td>児童館みんなのひろば</td> <td>10名</td> <td>参加親子8組</td> </tr> <tr> <td>12月17日</td> <td>児童館きのこのもり</td> <td>11名</td> <td>参加親子11組</td> </tr> </tbody> </table> </li>	日付	事業内容	学年	備考	6月21日	中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業	2年生	参加親子8組	11月24日	赤ふれふりかえり（DVD上映）	2年生		12月6日	いのちの授業	1年生		日付	事業内容	学年	備考	7月6日	中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業	2年生	参加親子8組	7月14日	中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業	2年生	参加親子7組	7月18日	中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業	2年生	参加親子4組	11月27日	赤ふれふりかえり（DVD上映）	2年生		12月14日	いのちの授業	1年生		日付	実施場所	小学生	備考	12月16日	児童館みんなのひろば	10名	参加親子8組	12月17日	児童館きのこのもり	11名	参加親子11組	【Do・Check】	
	日付	事業内容	学年	備考																																																				
6月21日	中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業	2年生	参加親子8組																																																					
11月24日	赤ふれふりかえり（DVD上映）	2年生																																																						
12月6日	いのちの授業	1年生																																																						
日付	事業内容	学年	備考																																																					
7月6日	中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業	2年生	参加親子8組																																																					
7月14日	中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業	2年生	参加親子7組																																																					
7月18日	中学校と赤ちゃんのふれあい交流事業	2年生	参加親子4組																																																					
11月27日	赤ふれふりかえり（DVD上映）	2年生																																																						
12月14日	いのちの授業	1年生																																																						
日付	実施場所	小学生	備考																																																					
12月16日	児童館みんなのひろば	10名	参加親子8組																																																					
12月17日	児童館きのこのもり	11名	参加親子11組																																																					
	②令和6年度の具体的な取組・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「みんなの学校」事業（学校運営協議会） 【具体的な取組】 ○課題としている「学校の課題解決に向けた具体的な協議や、効果的な意見集約」を図ることができるよう、学校運営協議会の目的や委員の役割等について、新しい委員や関係者に対して丁寧に繰り返し周知を行うとともに、それぞれの学校の課題を明確にし、具体的な協議課題を設定することにより、課題解決に向けた具体的かつ効果的な熟議の場となるよう更に取り組んでいく。</li> <li>●「みんなの学校」（学校支援地域本部：地域と学校の連携強化） 【具体的な取組】 ①学校支援地域本部会議の支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校と地域の連携・協働推進ハンドブック」を活用して、学校支援地域本部会議や地域コンシェルジュの役割についての説明を丁寧に行い、理解促進を図る。</li> </ul> </li> <li>②地域連携研修会の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県主催の各種研修会の紹介を随時行う。また、県主催の出前講座を活用し、教職員における地域連携事業の理解を深める。</li> <li>・今年度も塩谷南那須教育事務所との地域連携に係る共同研修会を実施する。</li> </ul> </li> </ul> <li>●中学生と赤ちゃんのふれあい交流事業 【具体的な取組】 ①母親オリエンテーション（参加するお母さんを対象とした説明会）を実施する。 ②中学2年生を対象に赤ちゃんとのふれあい交流事業を実施する。 北高根沢中学校：6月28日 阿久津中学校：7月4日、7月11日、7月16日 ③DVDを見ながら当該事業のふりかえりを実施する。 ④中学1年生を対象に「いのち」について考え、次年度の当該事業に向けて準備するための「いのちの授業」を実施する。</li> <li>●小学生と赤ちゃんのふれあい交流事業 児童館において小学生と赤ちゃんのふれあい交流事業を実施する。</li>	【Action・Plan】																																																					
	③特記事項																																																							

第2期 高根沢町まち・ひと・しごと創生総合戦略（進捗管理表）

基本目標2：「子育てに適した生活環境と、生涯にわたり住み続け・働けるまち」を目指します。

(1) 「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」を核として、「まちに住んでみたい」、「まちに住み続けたい」と思っていた方々を増やすための関係人口の創出と、魅力あるまちづくりの実現を図ります。

施策 【Plan】	2-1	「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」を活用した関係人口の創出	所管課	
			産業課	
主な取組		●「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」プロモーション事業		

【令和5年度】	①令和5年度の具体的な取組・検証の内容	<p>●「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」運営の側面的支援 【具体的な取組】 ○指定管理者（榎塚原緑地研究所）に対し、引き続き町の魅力等を発信するための取組への助言等側面的支援を行った。</p> <p>○20代～40代の若年層、ファミリー層が行きたくなる企画・運営への助言等側面的支援を行った。</p> <p>OSNSやHP、メディア等での積極的な情報発信の支援を行った。</p> <p>①町内のクリエイターや活動している団体等と共同した、体験メニューやイベント等の企画、開催の拡充を支援。＜瓢箪ランプ制作体験、天体観測イベント、町内のクリエイターや団体等の関係者による講座やマルシェ等のイベント開催、熱気球体験、地元愛好家による楽器演奏＞</p> <p>②町内の生産者と共同した農産物PRイベントの開催を支援。＜新米即売会＞</p> <p>③町産農産物のPR、商品開発の支援。＜通販による町農産物の販売＞＜町内イベントへの出店、大型百貨店等での販売＞＜高根沢日本酒プロジェクト（酒米づくり）によるオリジナル日本酒販売＞＜高根沢シェラートへの町産農産物のフレーバー使用＞＜オリジナル酒粕・御料味噌による豚まん販売、町産大豆を使用した豆腐販売、土産用高根沢焼ちゃんぼん販売、オリジナル酒粕を配合したオールインワンジェルクリームの販売＞</p> <p>④とちぎの星PRくとちぎの星を使用した日本酒・煎餅の販売等＞</p> <p>⑤SNSやHP、メディア等での積極的な情報発信＜テレビ、新聞、情報誌での放送、掲載＞</p>
	②令和6年度の具体的な取組・改善内容	<p>●「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」運営の側面的支援 【具体的な取組】 ○指定管理者に対し、引き続き町の魅力等を発信するための取組への助言等側面的支援を行う。</p> <p>○20代～40代の若年層、ファミリー層が行きたくなる企画・運営への助言等側面的支援を行う。</p> <p>○平日の利用促進への取組みの強化</p> <p>OSNSやHP、メディア等での積極的な情報発信の支援を行う。</p> <p>①町内のクリエイターや活動している団体等と共同した、体験メニューやイベント等の企画、開催拡充を支援する。</p> <p>②町内の生産者や飲食店等と共同したイベントの開催拡充を支援する。＜例：新米即売会、ローカルグルメフェス等＞</p> <p>③町内の生産者と協力し実施する農業体験等の開催拡充を支援する。＜例：農業体験・講座、収穫体験等＞</p> <p>④町産農産物のPR、商品開発の支援をする。＜例：農産物直売所の町内農産物の販売促進及び出荷割合の向上、とちぎの星のPR及び加工品の開発販売、町内農産物の加工品開発販売・PR等＞</p> <p>⑤平日の利用促進を図るための企画、事業展開の検討を支援する。</p> <p>⑥元気あっぷむらを拠点とし、町内エリアや近隣市町エリアの店舗や施設への人の流れをつくり、エリア全体での魅力あるパッケージ企画や情報発信の取組みを検証し支援する。</p>
	③特記事項	



第2期 高根沢町まち・ひと・しごと創生総合戦略（進捗管理表）

基本目標2：「子育てに適した生活環境と、生涯にわたり住み続け・働けるまち」を目指します。

施策 【Plan】	2-2	移住・定住の促進と魅力あるまちづくり	所管課	
			産業課 企画課	都市整備課
主な取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>●担い手によるイベント開催支援事業 ●空き家バンク</li> <li>●クリエイターズ・デパートメント事業 ●移住支援事業</li> <li>●創業支援事業</li> </ul>		
【令和5年度】	①令和5年度の具体的な取組・検証の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担い手によるイベント開催支援 【具体的な取組】 ○駅前賑わいづくりのため、クリエイターズ・デパートメント入居者によるマルシェの開催を支援した。（クリエイターズ・デパートメント多目的広場でのマルシェ開催数：4回/年、総来場者数：7,500人）</li> <li>●クリエイターズ・デパートメント事業 【具体的な取組】 ○創業支援施設入居者の入れ替えに伴う募集・選定を行った。（応募4件のうち3件の入居が決定） ○町内への移住や創業をサポートするため、ワンストップでの相談受付を行った。（移住・定住・創業支援センター相談受付数：71人/年） ○施設の利用促進のため、SNS（Facebook、Instagram）やパンフレットを活用したPRを行った（多目的広場でのマルシェ開催数：5回/年）</li> <li>●創業支援事業 【具体的な取組】 ○創業希望者を後押しするため、個々のレベルに合った支援計画を立て、町内での創業を支援した。（創業相談受付数：26人/年、うち町内での創業者数：8人/年） ○異業種間交流によるネットワークづくりのため、創業交流会「創業カフェ」を開催した。（参加者数：25人、うち町内での創業者数：3人）</li> <li>●事業者支援事業 【具体的な取組】 ○事業者の新たなチャレンジを応援するため、農業者によるインターネット販売サイトの開設を支援した。（補助件数：1件/年、補助金額：300千円）</li> <li>●空き家バンク 【具体的な取組】 ○町ホームページでの情報提供、自治会連合会総会時に各自治会長あて空き家バンク制度の周知、自治会の住民への周知の依頼を実施した。 ○空き家利用希望者からの問い合わせはあったことから、空き家バンク制度は徐々に浸透してきたと考えられる。しかし、空き家所有者の登録はなかったため、さらに周知の強化が必要である。</li> <li>●移住支援事業（地域再生計画、地方創生関連交付金等に係る事業の効果検証シートのとおり）</li> </ul>	【Do・Check】	
	②令和6年度の具体的な取組・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●担い手によるイベント開催支援 【具体的な取組】 ○JR宝積寺駅前の賑わいづくりのため、クリエイターズ・デパートメント入居者によるマルシェの開催を支援する。（マルシェ年間5回開催予定）</li> <li>●新たなイベント開催事業 【具体的な取組】 ○町を知り訪れるきっかけをつくるため、町内の施設（道の駅たかねざわ 元気あっぶむら、JR宝積寺駅等）や自然環境、農産物などの地域資源を活用し、20代の若者、30～40代のファミリー層に訴えかけるイベントを開催する。 ○事業の目的達成のため、イベントの形態（不特定多数の集客を図るもの、対象者を絞ったもの等）を検討する。</li> <li>●クリエイターズ・デパートメント事業 【具体的な取組】 ○年度内に期間満了を迎える創業支援施設について、入居者入れ替えに伴う募集・選定を行う。 ○町内への移住や創業をサポートするため、ワンストップでの相談受付を行う。 ○施設の利用促進のため、SNS（Facebook、Instagram）やパンフレットを活用したPRを行うとともに、町内外のイベント等においてPR活動を行う。</li> <li>●創業支援事業 【具体的な取組】 ○個々の創業希望者に寄り添ったきめ細やかな支援を行う。 ○異業種間交流によるネットワークづくりのため、創業交流会「創業カフェ」を開催する。</li> <li>●事業者支援事業 【具体的な取組】 ○事業者の新たなチャレンジを応援するため、マルシェの開催や新商品開発、インターネット販売などを支援する。</li> <li>●空き家バンク 【具体的な取組】 ○令和5年度までの周知方法に加えて広報たかねざわや関係機関へのチラシの掲載により周知強化を実施していく。それにより、空き家所有者の登録を増やしていきたい。</li> <li>●移住支援事業（地域再生計画、地方創生関連交付金等に係る事業の効果検証シートのとおり）</li> </ul>	【Action・Plan】	
	③特記事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>●移住支援金：世帯100万円、単身60万円。負担割：国1/2、県1/4、町1/4（内閣府地方創生推進交付金）</li> </ul>	

第2期 高根沢町まち・ひと・しごと創生総合戦略（進捗管理表）

基本目標2：「子育てに適した生活環境と、生涯にわたり住み続け・働けるまち」を目指します。

(2) 町の情報が必要な方へ届いていない現状を踏まえ、若い世代へのイメージ戦略の強化と併せて、SNS等の新たな媒体の活用と、情報発信ツールの束ねなおしを図ります。

施策 【Plan】	2-3	情報発信力の強化	所管課	
			企画課	こどもみらい課
			健康福祉課 (保健センター)	
主な取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>●町ホームページ・広報紙</li> <li>●子育て世代への情報発信</li> </ul>		

【令和5年度】	①令和5年度の具体的な取組・検証の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町ホームページ・広報紙 【具体的な取組】 ○広報紙は、レイアウトを工夫し、見て楽しくわかりやすい紙面づくりに努めるとともに、二次元コードの掲載数を増やし、より詳細な情報を手軽に入手できるよう努めた。また、各種申し込みがスマートフォンなどからできるLoGoフォームの二次元コードを掲載し、利用者の利便性を高めた。 ○広報紙の新聞折込数が減少したことから、新たに町内スーパーマーケットに設置を依頼し、配布方法を増やした。 ○ホームページは、前回のリニューアルから6年が経過していたことから、蓄積情報の整理及び機能性・デザイン性を高めるためのリニューアルを行った。 ○トップページを大幅にリニューアルし、スマートフォンからでも、より使いやすく、分かりやすい表示とした。 ○令和5年度の町ホームページへのアクセス数は355,067件（令和4年度は310,125件）また、町公式インスタグラムを始めた。</li> <li>●子育て世代への情報発信 【具体的な取組】 ○令和5年10月に子育てに必要な情報が必要な方に届けられるよう母子手帳アプリ「NIKO♡NIKO子育てアプリ」（母子モ）を導入した。 ○「母子モ」を活用し、子育て情報の発信や教室・相談の申し込みを行った。また、「母子モ」の周知として、乳幼児健診や赤ちゃん全戸訪問で、チラシを配付した。 ○子育て情報誌「2023年度版子育て応援隊」を作成し、町ホームページに掲載した。また、「子育て応援隊」を赤ちゃん訪問時に配付し、各施設や子育て関連窓口に配置した。 ○町ホームページ内のぶろぐ課にて、公立保育園やれんげそうの情報を発信した。 ○「子育て支援センターれんげそう」のインスタグラムに「れんげそうだより」やイベント情報等を発信した。 ⇒インスタのフォロワーも伸びており、イベントの案内やイベント後の様子も掲載することにより、インスタを見てイベントに申し込む利用者也増えている。</li> </ul>	【Do・Check】
	②令和6年度の具体的な取組・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町ホームページ・広報紙 【具体的な取組】 ○広報紙は、さらに見て楽しくわかりやすい紙面づくりのため、カラーページの活用、レイアウト構成を検討する。また、新聞折込数は減少傾向にあるため、引き続き、新規配布先を開拓していく。 ○ホームページは、さらに閲覧者の視点に立った構成になるよう、記事の整理、レイアウトを行い、必要な情報がすぐ得られるようにする。 ○ホームページとSNSの閲覧数が相互に伸びていくよう、情報の発信・連携を促していく。また、二次元コードを活用し、利便性を高めるとともに、スマートフォンからでも見やすいホームページ作りに努める。 ○高齢者向けスマートフォン教室で広報紙の二次元コード読み取りや、町公式SNSの紹介を実施するなど、他部署と連携し、情報発信を行っていく。</li> <li>●子育て世代への情報発信 【具体的な取組】 ○「母子モ」を積極的に活用し、子どもの成長段階に応じて、必要な情報を必要なタイミングで届ける。また、「母子モ」の周知として、乳幼児健診や赤ちゃん全戸訪問でのチラシ配付を継続していく。（令和6年5月現在のアプリ登録ユーザー数573人）。 ○子育て情報誌「2024年度版子育て応援隊」を作成し、町ホームページに掲載する。「子育て応援隊」を赤ちゃん訪問時に配付し、各施設や子育て関連窓口に配置する。 ○「子育て支援センターれんげそう」のインスタグラムの運用（令和6年5月現在のフォロワー277人、投稿数249件）。 ○町ホームページ、広報紙を効果的に活用し、子育て世代に分かりやすく情報を届ける。</li> </ul>	【Action・Plan】
	③特記事項		